



ご挨拶

今日は“*A-Winds*66”創立25周年記念演奏会にお越し下さり誠に有難うございます。「こころ豊かな文化の香り高き町 大和郡山市」お城の麓“DMG MORI やまと郡山城ホール”で皆様方と、お逢いをする事ができましたことに、団員一同心より御礼申し上げます。

四季折々に開催する、*A-Winds*の定期演奏会も66回目となり、1999年の発足以来、創立25周年を迎えることができました。これもひとえに我々*A-Winds*の音楽活動をこよなく愛して下さった、皆様方の御指導御支援の賜物と厚く御礼申し上げます。

今日は、日頃音楽活動をご指導いただいている*A-Winds*ミュージック・アドバイザーである潮見裕章氏をテューバのソリストとして、また2つの委嘱作品の作曲家である高昌帥氏を客演指揮者として、それぞれお招きしました。作曲家ご自身による渾身のタクトにて、今最高の*A-Winds*の演奏をお楽しみいただければ幸いです。

受け継がれ 最高を超える 薫習を

*A-Winds*奈良アマチュアウインドオーケストラ 団長 魚谷 昌克

今日は会場に足をお運びいただきまして誠にありがとうございます。今演奏会のテーマは「新たな芽吹き」です。創立25周年を迎えた*A-Winds*がこれから新たな歴史を紡いでいく上で、そのスタートとなるものにしたいという思いを込めました。

今回の演奏会では、「吹奏楽オリジナル曲を中心に取り上げていく」という創団当初からの方針にふさわしい往年の名曲に加え、*A-Winds*とは長年親交の深い作曲家、高昌帥氏による新曲2曲を演奏します。お届けする新曲は*A-Winds*の委嘱曲「RENAVIS」(第1部)と、*A-Winds*のミュージック・アドバイザー、潮見裕章氏委嘱のテューバ協奏曲「Concertino」(第2部)です。

「The Birth of New Music」の副題が示す通り、世界初演という「新たな音楽が生まれる瞬間」を、是非とも会場の皆様と共有できたら幸いです。

“*A-Winds* 66” 創立25周年記念演奏会 実行委員会一同



A-Winds からのお知らせ

“*A-Winds* 67” 2024年 夏の演奏会のご案内

2024年6月16日(日)

DMG MORI やまと郡山城ホール 大ホール

募金のお礼とご報告

*A-Winds*では演奏会開催ごとに義援金を募っており、演奏会終了後に「日本赤十字社」及び「奈良県新型コロナウイルス感染症対策基金」に全額納めております。

*A-Winds*64では8,000円を「日本赤十字社/令和5年台風2号等大雨災害義捐金」に、*A-Winds*65では13,120円を「日本赤十字社/イスラエル・ガザ人道危機救援金」の受付口座に納めました。

また、募金を開始した *A-Winds*58 から *A-Winds*65 まで、総額222,934円の募金をお預かりし、各受付口座に納めております。

募金にご協力いただいた多くの方々、に、団員一同厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。



*A-Winds*奈良アマチュアウインドオーケストラ

Piccolo 佐藤 由加里	Alto Saxophone 島田 博一 三宅 利幸 小山 飛鳥	Euphonium 尾登 勇介♯ 原田 桃花(プログラムノット) 藤山 みらい
Flute 佐藤 司(印刷) 魚谷 陽子 大塚 由起 南 結香 谷田 和奏	Tenor Saxophone 初岡 和樹	Tuba 吉村 優花 堤 正治郎♯ 松下 幸平♯ 吉田 友土
Oboe 桶谷 牧子 白井 秀	Baritone Saxophone 八木 理	Contra Bass 佐藤 良一
Bassoon 桶谷 美咲♯ 鈴木 沙織 上田 良子	Horn 久野 耕三 大田 雅美 坂元 栞♯(ミニレター) 西島 華奈子 中西 花菜	Percussion 谷口 麻子♯(チャリン・渉外) 木津 尚子 松本 小夜子 川人 舞 三木 柚穂 ♯ 岡内 万里奈 ♯ 森田 晶 ♯
B♭ Clarinet 竹村 明恵 八木 彩乃 中嶋 有沙♯ 吉本 樹 吉崎 淳子 中山 詩織(マスコミ) 中山 由香	Trumpet 魚谷 昌克 谷田 弥生 山本 洋介 大西 伸幸 井上 寛治 乙川 佳世 谷田 雪月	Piano 八木 真木
Alto Clarinet 大西 晴己	Trombone 小泉 文浩 田中 由美 赤羽 孝文(チャリデザイン) 寺阪 清貴♯ 松本 麗 田中 智寛	Announcer 境 貴子 ♯
Bass Clarinet 森口 悠斗		団員合計 55名 ♯ = エキストラ ♯ = 休団 ♯ = 実行委員長・企画局員 () = 係員

A-Winds メンバー募集

- 募集パート
- E♭ Clarinet ————— 1名 ∴ Contra Bass ————— 2名
- B♭ Clarinet ————— 3名 ∴ Percussion ————— 4名
- Horn ————— 2名 ∴ Stage Manager ————— 1名

- *A-Winds*の活動趣旨(ウインドアンサンブル&オリジナル重視)に賛同頂ける方
 - ご自分で楽器を準備できる方 ● 全ての活動に賛同頂ける方
 - 18歳以上の方 ● 詳細はお問い合わせ下さい。
- 問い合わせ先は<e-mail>a.winds.nara.contact@gmail.com



創立25周年記念演奏会 ～新たな芽吹き～



The Birth of New Music



2024年3月24日(日) 14:00開演 (13:30開場)

DMG MORI やまと郡山城ホール 大ホール

主催 ● *A-Winds* 奈良アマチュアウインドオーケストラ

後援 ● 奈良県・大和郡山市・大和郡山市教育委員会・奈良県吹奏楽連盟



プログラム & プログラムノート

指揮：高 昌帥(客演)

第1部

プレリュード

PRELUDE by spelled of “NARA, A-WINDS”

- 作曲：高 昌帥／Chang Su KOH
- 出版：未出版
- 演奏時間：約4分

カンタベリー・コラール

Canterbury Chorale

- 作曲：ヤン・ヴァンデルロースト／Jan Van der Roost
- 出版：デ・ハスケ(de Haske)
- 演奏時間：約6分

この曲は、作曲者がイングランド南東部にある世界遺産「カンタベリー大聖堂」を訪れた際に、その圧倒的な建造美から得た印象を基に作曲されました。カンタベリー大聖堂はイギリス国教会の総本山であり、英国屈指の巡礼地・ユネスコ世界遺産にも登録されている観光地として有名です。

曲名にある「コラール」とはドイツ語で「讃美歌」のことで、教会の厳かな雰囲気や、高い屋根の広大な空間から降り注ぐ柔らかな響きなどが曲中で表現されています。

冒頭は木管楽器により、ゆったりと優しい旋律が歌われ、ユーフォニウムやトロンボーンなどの中音域楽器に移っていきます。クライマックスでは荘厳な建築物を表すかのごとく壮大な響きが広がり、教会の鐘を意識させるようなチャイムの音で静かに曲を閉じます。

レナヴィス

RENAVIS by spelled of “NARA, A-WINDS”

- 作曲：高 昌帥／Chang Su KOH
- 出版：未出版
- 演奏時間：約8分

20XX年XX月XX日、私は突然 A-Windsの幹部数人によって某所に呼び出され、驚愕の作曲依頼を受けた。それは以下の条件を伴うものであった。

- ・音楽的内容的に A-Windsの20周年を記念するものにするこ
- ・上演にあたっては演奏会のオープニングにもアンコールにも使えるようにすること。

記念になる内容というのはまあいいだろう、しかしオープニングにもアンコールにも使えるって、一体どういうことなのか。私の乏しいイメージではオープニングとは華やかなファンファーレで、アンコールとは「蛍の光」みたいなそんなアレだ。その両方を兼ねるだなんてそんなこと出来るわけが無い！と内心思いながら、「……考えさせてくれ」と強がってみせるのが精一杯であった。

話はこれで終わらない。後日再度幹部達に呼び出された私に更なる試練が襲いかかる。オープニングにもアンコールにも使えるだけで無く、別の音楽を付け足すことで7分程度の作品としても成立するものを、と来るではないか！

これはつまりオープニングとして単独で演奏出来るAパートと、「蛍の光」の様な雰囲気でありながらもAパートと共通する素材を用いたアンコール用のBパートに、オプションのCパートを付け加えると合体して中規模の作品に変身する、そんなゲッターロボ(※)のような音楽を作れということなのか？？ そんな馬鹿な！！

思わず自分の耳を疑う私をよそにプロジェクトは始動してしまい、このとき以降このプロジェクトはコードネーム「ゲッターロボ」と呼ばれることになる。

(※)ゲッターロボ：永井豪と石川賢原作の漫画とそれをアニメ化したテレビ番組。それぞれ特性が違い、単独でも活動出来る3機のゲットマシンが合体してゲッターロボとなる。

困り果てた私は、先ず委嘱主である「A-Winds奈良アマチュアウィンドオーケ

ストラ」の団体名から、最も特徴的な名称「NARA, A-WINDS」を取り出す。そして下記の表のようにそれらの文字を音に当てはめてみる。そうすると、「NARA, A-WINDS」は「ソラレラ、ラシシソレミ」と読み替えることができる。何とかここまでは順調だ。ここからどう調理するかが問題なのだが、ここから先は勿論企業秘密である。

○まず、それぞれのアルファベットは以下の音にあたる。

ラ	シ	ド	レ	ミ	ファ	ソ
A	B	C	D	E	F	G

○次に、下へ順々にアルファベットをあてはめていく。そうすると全てのアルファベットに音があてはまる。

ラ	シ	ド	レ	ミ	ファ	ソ
A	B	C	D	E	F	G
H	I	J	K	L	M	N
O	P	Q	R	S	T	U
	V	W	X	Y	Z	

○しかし「H」はドイツ語で「シ」を意味するため、Hをシとし、Iをその1つ下の行に繰り下げる。そうして次以降は、再度順々にあてはめる。

ラ	シ	ド	レ	ミ	ファ	ソ
A	B	C	D	E	F	G
	H					
	I	J	K	L	M	N
O	P	Q	R	S	T	U
V	W	X	Y	Z		

そうして出来上がったのが、オープニング曲としての「PRELUDE」、アンコール曲としての「POSTLUDE（後奏という意味）」に、オプション部分を合体させて全体として「RENAVIS」。

「RENAVIS」とは、生まれ変わる・再生する、という意味の「renatus」に、パワーを意味する「vis」を足した(タイトルまでもが合体ものでは無いか。偶然とは思えない)ラテン語である。A-Windsミュージック・アドバイザーの潮見裕章氏に命名して頂いた。ラテン語を提案されるとは、博識だ！それぞれのパートが合わさって新たなパワーを持つ音楽に生まれ変わる、正にこの曲に相応しいタイトルを頂いて、心から感謝したい。

かのリヒャルト・ワーグナーはこんな意味のことを言っている。

「作曲にあたっては全力で工夫を凝らせ。但し、その工夫ための苦労の痕跡は跡形もなく消し去ること」

この言葉にかなうものになったかどうか、聴衆の審判を待たばかりである。

(文：高 昌帥)

第2部

序曲「春の猟犬」

The Hounds of Spring

- 作曲：アルフレッド・リード／Alfred Reed
- 出版：ハル・レナード(Hal Leonard)
- 演奏時間：約9分

序曲「春の猟犬」は、作曲者のアルフレッド・リードがイギリスの詩人アルジャーノン・チャールズ・スウィンバーンの詩劇『カリュドンのアタランタ』の合唱部の一節に感銘を受け、「若さ溢れる快活さ」と「優しい恋の甘さ」を吹奏楽で表現した曲です。

<一部抜粋>

春の猟犬が冬の足音をたどる頃　月の女神が牧場で草原で暗がりを、風吹く場所を　葉音、雨音で満たす微笑み隠す唇ほど柔らかな　木々の茂みを陽気に分け入り　追い求める神々の目を逃れ　かの乙女は身を隠す

この詩より、春の訪れを目前に控え、雪解けの中を猟犬たちが元気に走る様子が詠われています。

6/8拍子を中心とした明るく軽やかな曲調、中間部では4/4拍子のゆったりとした温かみのある曲調の2つの主題が中心となり、再び6/8拍子に戻り華やかなサウンドで締めくくります。各楽器のソロや掛け合いにも注目してお聞きください。

Tuba Solo：潮見 裕章

TUBA Soloと吹奏楽のための「Concertino」

Commissioned by Hiroaki SHIOMI Concertino for Tuba and Wind Orchestra

- 作曲：高 昌帥／Chang Su KOH
- 出版：未出版
- 演奏時間：約12分

大阪交響楽団チューバ奏者、潮見裕章氏委嘱作品。

氏から委嘱を受けたのはいつのことだったろうか。あまりにも昔のこと過ぎて覚えていないくらいなので、PCに残っている記録を調べてみたところ、何と2012年9月であったことが判明。委嘱のお話を頂いて実に11年もの期間お待たせしてしまいました。この11年間何度もお会いしているのに一度も催促されることも無く、そのご厚意に甘え続けてきました。潮見さん、本当にスミマセン！

さて、11年越しにいよいよ作曲するに際して、チューバという楽器の特性を考えてみました。チューバの特性その一、何と言っても音が低い！いや実は低いだけで無く意外なほど高音域もカヴァー出来て、金管楽器の中では1・2を競うほど音域が広いんです。特性その二、チューバは繊細な弱音にはじまり、吹奏楽をバックにしても埋もれないほどのヴォリュームに至るまで、とにかくダイナミクスレンジが広い！この点はオーケストラで用いられる他の低音楽器(ファゴットやバスクラリネット、コントラバス等)より遥かに抜きんでいます。そしてその三、チューバはその見た目にして敏捷性が非常に高い！楽器界のサモ・ハン・キンポー(古い?)です。

これらの特性を活かしつつ、潮見氏の音楽性を存分に発揮してもらえる様な曲を作ろうと思いました。その狙い通りの音楽になったかどうか。聴衆の皆様にご審判頂ければと存じます。(文・高 昌帥)



高 昌帥



プロフィール

大阪音楽大学作曲専攻卒業後、スイス・バーゼル音楽アカデミーに留学。これまでに作曲を田中邦彦、R.ケルターボーンの各氏に、指揮をJ.マイヤー氏にそれぞれ師事。現在、大阪音楽大学教授。日本現代音楽協会、関西現代音楽交流協会、21世紀の吹奏楽“饗宴”各会員。プロ・アマ問わず多数の委嘱を受け、管弦楽・吹奏楽・室内楽など様々な編成の作品を作曲する傍ら、現代音楽の指揮、アマチュアオーケストラや市民バンドの指導にも携わる。

潮見 裕章 (*A-Winds*ミュージック・アドバイザー)



プロフィール

1995年、大阪音楽大学を卒業。これまでにチューバを石崎一夫、武貞茂夫、西谷尚生、ロバート・トゥッチ、故トーマス・ウォルシュ、ロジャー・ボボの各氏に師事。国内外でソロリサイタルを多数開催し、アメリカ・ヨーロッパ・アジアの国際フェスティバル等にもゲストとして多数出演。今までに5枚のソロCDをリリース。大阪交響楽団チューバ奏者。大阪音楽大学、大阪芸術大学、非常勤講師。